

第36回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」を受章 勝又榮一さん〔金城〕

勝又さんは、昭和49年に魚沼消防事務組合に消防士として採用され、平成28年に南魚沼市消防本部消防長として退職するまで42年の長きにわたり消防活動に力を注がれました。国道253号八箇峠トンネル内爆発事故の際は、消防本部の最高責任者として指揮をとるなど、多くの災害現場でも尽力されました。

勝又さんは「上司、同僚、地域のみなさんなどとのつながりがあり、地域を守ろうという意識を共有していたからこそ続けることができました。受章できてうれしく思います」と語りました。



春の叙勲「旭日単光章」を受章 関隆雄さん〔宮〕

関さんは、平成8年9月に五城土地改良区の理事に就任し、平成12年5月には副理事長、平成24年5月には理事長に就任され、現在に至るまで25年の長きにわたり土地改良事業の推進などに尽力されています。

関さんは「国の固定価格買取制度（FIT制度）をいち早く利用して、五城発電所で売電事業を始めたことで、地域組合員の負担軽減に大きく寄与できたのではないかと考えています。長きにわたり組合員のみなさんと一緒に土地改良事業に取り組んできたことが、今回の受章につながったと感謝しています」と語りました。



春の叙勲「瑞宝単光章」を受章 林正機さん〔田中町〕

林さんは、昭和44年から塩沢紬を中心とした織物の製造に携わり、現在に至るまで50年以上従事してきました。平成7年には、当時の通商産業大臣から、塩沢紬の製造に関する高度な技術や知識などを保持する技術者として伝統工芸士に認定されました。

林さんは「織物は一人では作り上げることができません。多くの人の手を経て、一つのものを作り上げるのが大変なことであり、誇りでもあります。塩沢の伝統的な織物をなくさないように頑張っている同業者、一緒に仕事をしているスタッフ、家族や親族に感謝をしています」と語りました。



春の褒章「藍綬褒章」を受章 山本千秋さん〔柳古新田〕

山本さんは、昭和49年から現在に至るまでの47年間、統計調査員としてさまざまな統計調査に力を注がれました。製造業の実態を把握するための工業統計調査をはじめ、国勢調査や農業センサスの統計調査員としても活躍されています。

山本さんは「20代で初めて統計調査に携わり、ここまで続けられたのは調査に協力いただいたみなさんのおかげです。ごくろうさま、という一言が励みになりました」と語りました。



5月9日(日)

八色の森公園を主会場として Wings for Life World Run が開催されました

日本では南魚沼市で唯一開催され、スキーハーフパイプのソチオリンピック銅メダリストの小野塚彩那さんや車いすラグビーでアテネと北京のパラリンピックに出場した高橋義信さん、レッドブル・アスリートの上田瑠偉さんを含む総勢101人が参加しました。当日は、手指消毒と検温はもちろんのこと、参加者の追跡はスマートフォンのアプリ上で追跡を行い、閉会式は行わないなど、感染防止対策を十分に講じて開催されました。



Wings for Life World Run は、世界中で同時にランナーが一斉にスタートし、キャッチャーカーと呼ばれる追跡車に追い抜かれるまで、走り続けるランニングイベントです。イベントの参加費は、すべて脊椎損傷の治療方法の研究助成費として寄付されています。